

生活クラブ



生活クラブ10の基本ケア(保育)

- 1 心地よい保育環境をつくる
- 2 生活(食べる・排泄する・寝る)の援助をていねいに行う
- 3 子どもの気持ちをしっかり受けとめる
- 4 子どもの主体性を大事にする
- 5 子どもの自発的な遊び＝学びを保障する
- 6 生活クラブならではの食育を行う
- 7 仲間と育つ機会を大切にする
- 8 保護者とともに子育てをする
- 9 保育者の専門性とチームワークを高める
- 10 サステイナブルな地域社会をつくる

生活クラブ 10の基本ケア(保育)



「生活クラブ10の基本ケア(保育)」は、生活クラブグループが行う子育て支援の中で、保育に特化したケアをまとめました。保育している子どものみならず、保護者や地域の子育て家庭の支援も含め、地域の中での保育を実践するため、共通の言葉を持つものです。

子どもたちが、かけがえのない唯一無二の存在として大切にされ、その子らしく成長・発達していけること、それを実現していくのが、生活クラブの保育の目標です。

● 私たちの基本姿勢 ●

- ① 子どもの権利を尊重し保育を考えます
- ② 養護と教育の一体化*をていねいな保育で実践します
- ③ 協同組合の基本理念である「たすけあい」を基本とします

※養護と教育の一体化: 保育所保育指針で示されている。落ち着いて安心・安全に過ごせることに配慮しながら(養護)、さまざまな経験を通じ感情や言葉・運動能力などの獲得を育むこと(教育)を支える表裏一体の関わり。

生活クラブ

01

心地よい 保育環境をつくる

気持ちよく清潔な空間、
保育者の姿勢も含めた保育環境をつくります。

- 衛生的で安全な環境を整えます。
見えないところにも気を配ります。
- 換気や清掃、消毒を行い感染症を予防します。
- 色の調和や季節を感じる空間づくりをします。
- 保育者の笑顔は「大丈夫だよ」のサイン。
愛情あるまなざしで子どもに関わります。



10

サステイナブルな 地域社会をつくる

子どもが生きる現在の社会、未来に手渡す社会が公正で、
誰も排除されない、サステイナブルな地域社会を描き、
その実現に向け取り組みます。

- 地域の子育て家庭にも場を開放し相談にのります。
- 保育の中から見えてきた地域の課題について、
地域とともに解決に取り組みます。
- 地域の他の団体とネットワークし、
防災や防犯なども意識し地域全体でたすけあえる
関係をつくります。



09

保育者の専門性と チームワークを高める

保育者の専門性を高めるとともに、
健康で生き生きと働ける環境をつくれます。

- 保育者同士がそれぞれの考えを出し合い対話することを大切にします。
- 研修への参加や自主学習を行います。
- チームとして自分たちの保育を振り返り、記録し、
保育環境を整え、言葉がけの方向を考える
創造的な保育をします。



02

生活（食べる・排泄する・寝る）の 援助をていねいに行う

「食べる」「排泄する」「寝る」のケアは、
保育者との信頼関係をつくれます。

「私は大事な存在なのだ」という自己肯定感を育む大切な機会として、
ていねいに行います。一人ひとりの子どものペースに合わせます。

食べる

- それぞれが自発的に食卓に向かうことを基本とし、ていねいに見て手助けします。食べる意欲を尊重しつつ一緒に食べる機会も大事にします。
- 好き嫌いもその子の個性と捉えます。「おいしい」「楽しい」を優先した食事時間とします。

寝る

- その子の入眠スタイルに合わせて援助します。気持ちよく眠りにつき、気持ちよく目覚められるように援助します。
- 子どもの顔色や睡眠状態を定期的に確認します。

排泄する

- 一斉に促さず、それぞれのタイミングで手助けします。
- オムツ替えは、一つずつの行為を言葉にしながらていねいに行います。
- 子どもができることは待ち、手助けが必要なことは声をかけながら行います。
- プライバシーを守り自尊心を傷つけないように配慮します。
- 感染症の蔓延を予防するため衛生的な処理手順を徹底します。

03

子どもの気持ちを しっかり受けとめる

不安な思いをいつも受け止めてくれる特定の保育者がいることで
安心の基盤をつくります。「ねえねえ」といつでも言える子に、
「なあに」とすぐ応じられる保育者に。抱っこやおんぶ、
触れ合うという行為を通して基本的信頼感を育てます。

- 十分なスキンシップを行い、愛されていると感じながら
成長できる保育をします。
- 安心感を持てることで、外の世界へも
興味を広げていけるようにします。
- 泣き、ぐずるなど「言葉」以外にも色々な方法で
子どもは気持ちを表します。「こうしたい」という
子ども自身の思いを理解して関わります。



08

保護者とともに 子育てをする

子どもの成長とともに
喜び合える関係づくりをしていきます。

- 保護者の思いに耳を傾け、
保護者の自己決定を尊重します。
- 保護者が保護者会や参観などに参加でき、
保護者同士がつながる機会をつくります。
- 保育者の専門性を活かした情報を提供します。



07

仲間と育つ機会を 大切にする

友達と触れ合い、人と関わることから感じた経験を大切にします。
遊びや学びを通して生まれるたすけあいの心が
豊かに育つことを大切にします。

- 異年齢で過ごす貴重な時間を意識的につくります。
- 子どもだけでなく、保護者や保育者、地域の方との関わりがあるからこそ心豊かに育っていけることを大切にします。
- 友達と過ごす中から、思いやりやルールの必要性を自然に身に付けられるようにします。



04

子どもの主体性を 大事にする

子どもの行動の背景にある理由を
考えながら対応します。

- 一人ひとりの思いを大切にします。子どもの願いを聞き、子どもの立場に立って関わります。
- 一斉での声かけではなく、その子の近くに行って言葉をかけます。



05

子どもの自発的な 遊び＝学びを保障する

日常の遊びを大切に、
遊びが発展したり深まったりするよう支えていきます。
遊びを通して、知識や思考力を身に付け
人間性を磨いていく学びの機会を保障します。

- 子どもが遊びを選んで集中できる場をつくれます。
- 散歩や動植物を育てる経験を通して、社会や自然に触れ、
季節を感じ、社会性、探求心、好奇心を育みます
- 「木育」を大事にします。木のおもちゃなどに触れ、
木のぬくもり・匂いなど五感に働きかけ、
感性豊かな心の発達を育みます。



06

生活クラブならではの 食育を行う

何を食べるか、どう食べるかの視点を取り入れます。
食への関心を深められる取り組みをします。

- 消費材を使い豊かな食を提供することで、
生産・消費・廃棄までトータルに考えた「食」を、
子どもや保護者にわかりやすく伝えます。
- 栽培、収穫体験を行う、食材に触れる、生産者と交流する、
調理を行うなど生活クラブの実践を活かした
食育活動を行います。

